
W杯と生徒会

藤原 平城

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

W杯と生徒会

【Nコード】

N1682V

【作者名】

藤原 平城

【あらすじ】

三題小説。テーマは【W杯^{ワールドカップ}、消費税、梅雨】

「Fujiwarahaijo.com、pixiv」に重複投稿

嵐の生徒会室は、いつも血の臭いに飢えている。

そんな陰口を叩かれる生徒会だが、折しも季節は中だるみの六月。生徒会室は嵐どころか梅雨空同様にねちっこく、臭いもせいぜい雑巾が発する酸っぱい悪臭くらいのものだ。

もっとも、まっとうな生徒が近寄ってはいけない場所であることに変わりはないのだが。

「さて、今日の議題は『W杯はなぜ梅雨の時期に開催するのか』ですが」

「はいっ！ 異議あり！」

レジュメから顔を上げた議長は三つ編みを後ろに払い、眼鏡越しに副会長を覗きこむ。

「どうぞ、副会長」

「どーしてわざわざ生徒会でサッカーの議題なんて取り上げんのよ」

「はい、今回の議題は会長の提案によるもので」

「そんなことが聞きたいんじゃないのよ！」

バンバン！ と机を両手で叩いた副会長は、細い眉をキリリと吊り上げ声高に叫ぶ。

「生徒会でW杯の話をしたってどーしょーもないでしょ？ そんなことよりより消費税よ消費税！ あたしたちの生活を直撃しちゃうんだから」

「あゝっ、うっせえ！」

ずっと腕を組んで話を聞いていた会長だったが、ついにガタンと席を立って、

「それが意見箱に入ってたんだよ！ 『これからはみんなの意見をききましょー！』って先月偉そーに提案したのはオマエだろ？ もう忘れたのかよ！」

「バカっ！ 意見箱の中身はなんでも無節操に取り上げりやいいつてモンじゃないのよ！ あんた、会長のクセにそんな判断もできないの？」

「なんだと！ 俺のチョイスに文句つけやがんのか！ ちょっと顔が可愛いからって、男子票集めて当選していい気になりやがって！」
「なっ……！ なによっ、あんただってねー！」

生徒会長と副会長、いまや両者とも立ち上がり、パイプ脚の会議卓を挟んで龍虎のように睨み合う。互いに罵倒の口を開きかけたと同時に、

ピッ！

と、鋭いホイッスルの音が生徒会室に響いた。

「反則。議長が指名してから発言してください」

ホイッスルをくわえたまましゃべる議長は、セーラー服の胸ポケットから黄色いカードを取り出して、なにやら書き込みをはじめている。

「今回は二人ともイエローカード。もう一度反則を受けたら退場してもらいます」

先に動いたのは、ぽかんと口を開いたままの会長。

「議長……なんでそんなモノ持ってんだ？」

「私、サッカー部のマネージャーなんです。これ、裏のスポーツ用品店で三百九十九円で売ってるんですよ」

「勝手にサッカーの話に持ちこまないでよっ！ 三百九十九円っていったら税抜きで三百八十円、消費税がアップしたらこれが税込みで四百十八円になっちゃうかもしれないのよ！」

「そっちこそ消費税の話に誘導する気満々じゃねーかっ！」

……
……

「……他の議題にしましょうか」

投げやりな議長の言葉に、会長と副会長は疲れ切った顔で同時にうなずいた。

「ねえ、会長。もっとマジメな意見は入ってなかったの？」

「ああ、これでも副会長に気をつかってんだぜ。例えば『副会長のスリーサイズはいくつですか？』なんてのもあったけど、そっちのが良かったってのか？」

「……………え？」

副会長の顔が耳たぶまで真っ赤になったのを、会長の目は見逃さない。

「おうーし、超マジメに議論しようぜ副会長！　なんだかヤケにみなぎってきたぞ！」

「そうですね。私も同性として大変興味がある議題です」

「ぎ、ぎ、議長までなにバカなこと言ってるのよ！」

「さあ、まずはバストからだ。さしずめWカップくらいはありそうだな」

「そんな巨乳女がこの世にいるわけないでしょっ！」

……………

……………

嵐の生徒会室。

アツい議論は今日もまだまだ続く。

《了》

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1682v/>

W杯と生徒会

2011年10月9日06時34分発行